

2021年アルミ業界重大ニュース

2021年12月24日

項 目	コ メ ン ト
①資源循環プロジェクトが先導研究から国家プロジェクトに昇格	「アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業」として2年間先導研究を行ってきたが、9月から助成事業による国家プロジェクトに昇格し、実用化に向けた研究開発を続けることになった。初年度の助成金は3億円である。「不純物元素低減技術の開発」と「微量不純物を無害化する高度加工技術等の開発」の2つの課題に取り組む。
②国内アルミ業界の再編相次ぐ	1月、米アポロ・グローバル・マネジメントは、昭和電工(株)からアルミ板事業とアルミ缶事業を、11月には三菱マテリア(株)からアルミ板・押出事業とアルミ缶事業を買収すると発表。アルミ業界で再編が相次いだ。
③SDGSを背景にアルミの特性を見直す動きに伴い、他素材からアルミ容器への変更の動き相次ぐ	4月、無印良品を展開する良品企画は飲料容器のパッケージをペットボトルからアルミボトル缶に、10月、P&G はヘアケアブランド「パンテーン」の新商品（シャンプーとリンス）の容器をプラスチックボトルからアルミボトルに変更。ダイドードリンコは3月以降、一部法人顧客のオフィスに設置する自動販売機のお茶や水など6種類の飲料容器をペットボトルからアルミボトル缶に変更するなど、SDGsを背景にアルミの特性を見直す動きに伴い、アルミ容器への変更の動きが相次いだ。
④リチウムイオン電池向けのアルミ箔需要の好調継続、驚異的な伸び	リチウムイオン電池向けアルミ箔の需要は好調を継続し、1-10月期の出荷量は33,195トと、暦年（1-12月期）で過去最高を記録した昨年の25,994トを上回る驚異的な伸び。箔全体の3割を占めるまでに成長した。
⑤中国からのアルミ板輸入、過去最高へ	1-10月期の中国からのアルミ板輸入量は58,221トとなり、暦年（1-12月期）で過去最高を記録した2019年の63,376トを上回る勢い。
⑥アルミ協会、ツイッターを活用した広報活動を展開	ツイッターで缶を主体に自動車、鉄道車両などの分野でアルミを使用した製品の最新情報等を定期的に紹介。7月にはクイズキャンペーンを新たにスタートし、第1回目のクイズは800名を超える応募があり、フォロワーの数も飛躍的に増加。また、アルミ缶のリサイクルをテーマに、アルミ缶を使った造形物やテーマに沿ったポスターや写真、動画などを募集する「アルミ缶アートコンテスト」を実施。ツイッターを活用した広報活動を展開した。
⑦アルミ副原料の価格高騰、マグネシウムは一時15,000ドル/トに	マグネシウムや金属シリコンなどの副原料の価格は、需要の増加を背景に年初より上昇傾向。9月に中国政府が実施した電力制限により工場生産が停止されると、価格は急騰し、マグネシウムは一時ト当たり15,000ドルまで急進。その後、電力制限は緩和され鎮静化しつつある。
⑧中国のアルミ生産量、過去最高を記録	世界最大のアルミ生産国である中国の2020年暦年（1-12月期）のアルミ生産量は、前年比4.9%増の3,708万トと過去最高を記録した（それまでの過去最高は2018年暦年の3,580万ト）。